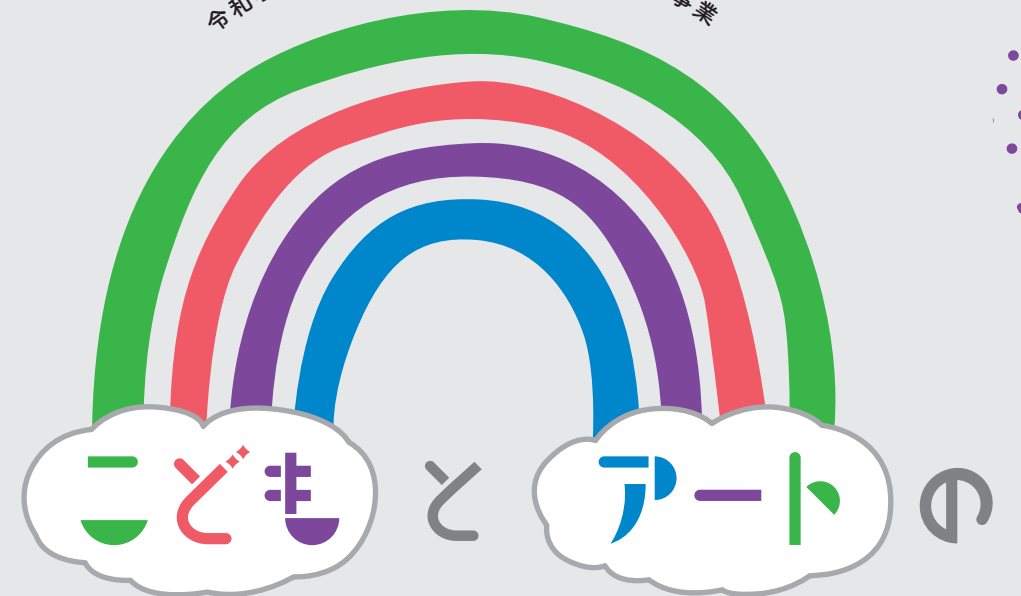


令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



# 架け橋プロジェクト 2022

実施レポート

公益財団法人としま未来文化財団

企画・発行:

公益財団法人としま未来文化財団  
企画制作部 事業企画課 事業企画グループ

助成: 令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



こどもとアートの  
架け橋プロジェクト  
2022

はじめに

本プロジェクトは、創造性を育み子どもたち一人一人の心理的な居場所となる「アート」と

「子ども」との架け橋を創出するプロジェクトです。

豊島区内の様々な施設を活用し、気軽にアートに触れられる場を提供するほか

子どもたちに向けてダイレクトにアプローチする体験活動を展開しています。

本誌は、2022年度「こどもとアートの架け橋プロジェクト」取り組みの記録です。

多くの方と共有し、次なるステップへの対話を広げていくことができたらと思います。

としま未来文化財団ではSDGsの理念と、豊島区が掲げる

「誰もが主役になれる」まちを目指す国際アート・カルチャー都市の考えに基づき

地域の様々な人と連携し、この取り組みを発展させて参ります。

3-4p | 乳幼児向け芸術ワークショップ  
親と子のアートサロン 0.1.2のおもちゃ箱



5p | 区内児童施設連携事業

6p | 区内児童施設等連携事業  
オリジナルのボールペンをつくろう!



7p | 区内児童施設等連携事業  
ビーだまコロコロ城をつくってあそぼう



8p | 子ども・若者支援機関連携事業  
「こどもたち × アーティスト 丸シールアート」  
作品巡回展示、招待事業



9p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業

10p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業  
コマ撮りアニメーション ワークショップ



11p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業  
カリビアン・ミュージック・コンサート



12p | 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業  
あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー



13-14p | 2022年度の実施を終えて(まとめ)



# 親と子のアートサロン お いっ ち に 0.1.2.のおもちゃ箱 —世界はステキな出会いに溢れている—



## ▶目的

0歳からのアート体験。「世界はステキな出会いに溢れている」を言葉に0歳からの小さな人たちへ、たくさんの出会いの場をつくっていくこと目指しています。音楽・演劇・舞踊・美術などの様々なジャンルのアーティストを迎え、赤ちゃんと一緒に心と空間の中、芸術や子育てについて思いをはせ、語れる場を提供しています。

## ▶2022年度の実施について

赤ちゃんたちが自発的に五感をつかって楽しめることを大切に、実施内容のバリエーションを工夫しました。1回目は昨年中止となったロバの音楽座によるめずらしい音や形の多様な楽器による音楽公演、2回目は赤ちゃん向けに制作された身体表現によるベビーシアター、3回目はリズムや音を身体で感じるワークショップを実施しました。たとえ小さな音色や振動でも敏感に感じとる赤ちゃんたちは、初めて感じた感覚に目を丸くしたり、自然に手足が動いたり。今年度も新しい出会いをプレゼントできました。

## ▶事業概要

### ロバの音楽座「ポロンポロン」(写真A)

- 日時 2022/6/15(水) ①11:00~11:45 ②13:30~14:15
- 会場 としま区民センター 小ホール
- 対象・人数 0から2歳(0か月~36か月未満)の乳幼児と保護者 各回20組60名
- 料金 1,500円
- 参加アーティスト ロバの音楽座



### ベビーシアター nido(写真B)

- 日時 2022/8/11(木・祝) ①10:00~10:40 ②11:30~12:10 ③14:00~14:40
- 会場 としま区民センター 多目的ホール
- 対象・人数 3~6か月未満の乳幼児とその保護者 各回5組
- 料金 1,000円
- 参加アーティスト はらだまほ(パフォーマー/振付家)



### ハッピー・メリー・プチ・パーチー(写真C)

- 日時 2022/12/22(木) ①10:30~11:00 ②11:30~12:00
- 会場 あうるすぽっと ホワイエ
- 対象・人数 18か月未満の乳幼児とその保護者 各回7組
- 料金 1,000円
- 参加アーティスト 野尻小矢佳(打楽器)、福島青衣子(ハープ)



- 主催 公益財団法人としま未来文化財団
- 共催 豊島区
- 助成 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

## 参加者の声

会場に入った瞬間から、体験したことのない空間に興味津々なのが伝わってきました。

それまで落ち着きのなかった子供が楽器の音が聴こえた途端、真剣に聴き入っていたのが印象的でした。

今まで見たことのない子供の表情や反応を見ることができ、たくさんの発見がありました。小さいうちからアートや音楽に触れさせたいと思っていたので、このような機会があり大変嬉しかったです。

会場が暗くなり手首に楽器をつけたところや息子が音楽に合わせておしりを動かしているのがとても印象的でした。

親子ともども貴重な体験でとても楽しかったです。アートを五感で感じれる素敵な作品でした。

## ▶これまでの「乳幼児向け芸術ワークショップ」の取り組み

- 2018年度 日本児童・青少年演劇劇団協議会ベビーシアタープロジェクトと3ヵ年計画を立ち上げ、共催にて初開催。  
2月 「親と子のアートサロン」@ぞうしがや こどもステーション
- 2019年度 9・10月 「親子であそぼ!ワークショップ・親子で観よう!ベビーミニシアター」@ぞうしがや こどもステーション  
2月 「親子であそぼ!ワークショップ・親子で観よう!ベビーシアター」@としま区民センター
- 2020年度 10月 青空ワークショップ「ゆったりのんびりわらべうた」@自由学園明日館  
11月 ベビーミニシアター「マ・ブニュカ!」@自由学園明日館  
1月 床の上ワークショップ「ゆったりのんびりわらべうた」@雑司ヶ谷公園 丘の上テラス  
1月 ベビーミニシアター「まる」@雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
- 2021年度 7月 「おとみくくと音の旅-楽器の島をめぐるうた-」  
9月 「からだのこぼれおしゃべりしよう!ゆったりのんびり親子ワークショップ」









# ビーだまコロコロ城を つくってあそぼう



## ▶事業概要

新型コロナウイルス感染症の流行により行動制限を強いられる中、子どもスキップから「開放的な気持ちになって楽しめるもの」という要望があり、今回の工作ワークショップを企画しました。家にあるストローや割りばし、トイレトペーパーの芯などの身近なものから、キラキラしていたり半透明のめずらしい折り紙、カラフルなマスキングテープやシールなど様々な材料を用意して自由に「コロコロ城」を作ってもらいました。ルールはお城というテーマと、みんなで作るということのみ。思ったように作れなかったり、偶然のビー玉の動きを発見したり、誰かのつくったものをアップデートしたり、正解もなければ間違いもない世界で思い思いのこだわりを見ることができました。

- 日時・会場・参加人数(各会場2回実施)
- 2022/8/2(火) 14:00~16:30 子どもスキップ千早 計30名
- 2022/8/5(金) 14:00~16:30 子どもスキップ巣鴨 計28名
- 2022/8/19(金) 14:00~16:30 子どもスキップ朋友 計23名
- 2022/8/26(金) 14:00~16:30 子どもスキップさくら 計31名
- 2022/8/30(火) 14:00~16:30 子どもスキップ富士見台 計30名
- 料金 無料
- 参加アーティスト 井上ヤスミチ(画家・イラストレーター)



参加者の声

みんなで協力して楽しかった。

工作してお城みたいにするのが楽しかったし、ビー玉を転がすのも楽しかった。

おっきなのを作るのが楽しかった。

自由自在に作れるし、材料もたくさんあったから。

パーツを考えるとこが難しかった

木のトンネルを作ったのが難しかった。

子どものスキップ  
職員の声

おもしろい発想や友だちと協力してつくる楽しさが伝わったと思いました。

制限なく児童が思い思いに自由で作ることができる内容であったこと。

子どもの発想を認め、実現に向けてのアドバイス、手助けがあたたかく的確。意欲的な子どもたちの表情が物語っていました。

イメージやアイデアを出し合う場面。あの場で次々とイメージがとび交い、そこからのスタートへの流れがさすがだな!と思いました。

普段は絵を描かない子が、とても可愛く絵を描いていて新たな発見がありました。

# 「こどもたち × アーティスト 丸シールアート」 作品巡回展示、招待事業



## ▶目的

本事業は、経済的格差や家庭環境によって生じる文化的体験機会の差を少なくし、文化芸術を通して生み出される居場所や創造性を育むことを目的としてスタートしました。鑑賞事業へのご招待のほか、アーティストが身近に感じられるよう日常空間にも直接体験の機会を届ける取組を展開しています。

## ▶2022年度の実施について

子どもたちと丸シールアーティストの大村雪乃さんによって制作された丸シールアートの巡回展示を行いました。さらに、鑑賞事業への招待を増やし文化芸術に出会う機会を創出しました。子どもたちにはこれらの機会をきっかけに、価値観の多様性を知ったり、豊かな生き方や考え方のヒントを得てくれたらと思っています。招待事業では、公演の選択~招待~参加人数の確定~当日の対応までの一連の流れを豊島区内のNPOと調整し、効率的に運用する流れをつくることができました。

## ▶事業概要

「こどもたち×アーティスト 丸シールアート」作品巡回展示

■日時・会場

- 2022/4/27(水)~5/8(日) WACCA IKEBUKURO アートスペース
- 2022/5/10(火)~5/22(日) 雑司が谷地域文化創造館
- 2022/6/1(水)~6/28(火) 千早地域文化創造館
- 2022/6/30(木)~7/27(水) 南大塚地域文化創造館
- 2022/7/29(金)~8/24(水) 巣鴨地域文化創造館(中山道待夢)
- 2022/9/11(日)~9/29(木) 駒込地域文化創造館

■料金 無料

■参加アーティスト 大村雪乃(丸シールアーティスト)

招待事業

■日時・招待公演名

- 2022/7/23(土)~7/31(日) コマ撮りアニメーションワークショップ
- 2022/8/13(土) カリビアン・ミュージック・コンサート
- 2022/12/24(土) あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー
- 2023/3/4(土) 創作話芸ユニット ソーゾーシー 2023春・あうるすぽっと公演

■人数 50名

■料金 無料

■主催 公益財団法人としま未来文化財団

■助成 令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

■連携 認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

## ▶これまでの「子ども、若者支援機関連携事業」の取り組み

- 2018年度** 豊島区内の子ども食堂・無料学習支援団体等との連携により、出張ミニコンサート「みんなの音楽」の開催、鑑賞事業へのご招待をスタート。  
10月「椎名町子ども食堂ミニコンサート~口笛とピアノで奏でるハーモニー~」@椎名町子ども食堂 金剛院 蓮華堂  
12月「クリスマス ミニコンサート~あたたかで華やかな5色の金管楽器の響き~」@中高生ジャンプ東池袋 ホール
- 2019年度** 通年 鑑賞公演(音楽・演劇)ご招待(14公演・120名参加)
- 2020年度** 新型コロナウイルスの影響により「アートキット」の配布(250セット)、アーティストとのコラボレーション作品制作、記念品(エコバック)制作、展示(9ヶ所)を実施。
- 2021年度** 「アートキット」の配布(300セット)のほか、放課後児童施設にてキットを使用したワークショップを実施。アーティストとのコラボレーション作品を制作。記念品としてコラボレーション作品のカレンダーをプレゼント。



# 小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業

## ▶目的

小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業は、小学生をメインターゲットとして、学校や習い事とは別の場所でアートに出会い体験する場の創出を目的としています。アートの世界に誘ってくれるアーティストや、同世代の仲間たちと一緒に楽しい時間を過ごす中で、「好き」「得意」を見つけ、創造力・表現力・発想力・コミュニケーション力を磨きながら、健やかな身体と感性豊かな心を育ててほしいと願っています。

## ▶2022年度の取組み

7月から8月に「としまアート夏まつり」の連携事業として「コマ撮りアニメーションワークショップ」(写真A)、共催事業として「カリビアン・ミュージック・コンサート」(写真B)を実施しました。12月には「あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー」(写真C)を実施しました。各事業の詳細については10~12ページをご覧ください。



■主催 公益財団法人としま未来文化財団、豊島区  
■助成 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

## ▶これまでの「小学生向け芸術ワークショップ&鑑賞事業」の取組み

- 2014年度～ 豊島区補助金事業として、豊島区在住・在学の小学生を対象とした芸術体験プログラムを開始。
- 2018年度 音楽中心の舞台芸術を体験しながら自己表現の方法を学ぶプログラムとして開催。
- 2019年度 「夏休みこどもアートサーカス」として夏休み6日間の体験プログラムに再編。プログラミング、美術、身体表現、伝統芸能、音楽の5ジャンルを実施。(延べ580名参加)
- 2020年度 新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンライン形式で「コマ撮りアニメーション」と「音楽」のワークショップを実施。ミニアニメーション映画を制作しYoutubeで公開。(延べ187名参加)
- 2021年度 オンライン形式で「コマ撮りアニメーション」と「プログラミング」のワークショップ、現地開催で「造形(版画・切り絵)」と「音楽」ワークショップ、コンサートを実施。(延べ275名参加)

小学生向け  
芸術ワークショップ&  
鑑賞事業

# コマ撮りアニメーション ワークショップ

撮影:島崎雄史



## ▶事業概要

### ワークショップ

2日間にわたってコマ撮りアニメーションを作るプログラム。1日目のオンラインワークショップでは自分で考えたオリジナルキャラクターのパペットを作り、2日目は会場に集まってアニメーション撮影に挑戦しました。

①オンライン パペット制作 ②対面ワークショップ

#### Aグループ

■日時 ①2022/7/23(土)10:30~12:00  
②2022/7/30(土)10:00~12:00  
■対象 小学1~3年生

#### Bグループ

■日時 ①2022/7/23(土)14:00~15:30  
②2022/7/30(土)14:00~16:00  
■対象 小学3~4年生

#### Cグループ

■日時 ①2022/7/24(日)10:30~12:00  
②2022/7/31(日)10:00~12:00  
■対象 小学5~6年生

#### Dグループ

■日時 ①2022/7/24(日)14:00~15:30  
②2022/7/31(日)13:30~15:30  
■対象 中学生~高校生

■会場 ①オンライン ②東京芸術劇場 5F ギャラリー2

■人数 各回10名

■料金 1,500円

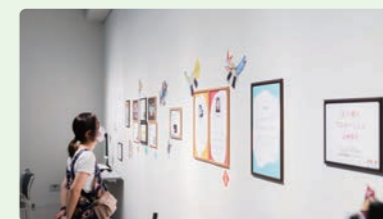
■参加アーティスト 古国府 薫(アニメーション作家)、片山なのあ(イラストレーター)



## 「宇宙盆踊りお絵描き大会」

7月のワークショップで作成したアニメーションの背景となる絵を描くオンライン・ワークショップを開催しました。

■日時 2022/9/23(金・祝)11:00~12:30  
■対象 7月のワークショップに参加した子どもたち  
■会場 オンライン  
■人数 5名  
■参加アーティスト 古国府 薫



## 上映展示

今回のワークショップで作成したアニメーション作品を上映するミニ上映展示会を実施しました。過去のワークショップで作成した作品やオリジナルの撮影台、講師の古国府薫さんの作品も同時に展示しました。

■日時 2022/7/31(日)17:00~18:30  
■会場 東京芸術劇場 5F ギャラリー2  
■人数 39名  
■料金 無料(入退場自由)

## コマ撮りアニメーション作品『宇宙盆踊り大会2022』

今回のワークショップに参加した子どもたちとアーティストによって制作されたコマ撮りアニメーションです。YouTubeにてぜひご覧ください。

■作品について  
アニメーション:子どもアーティストのみんな  
ディレクション:古国府 薫  
編集:向井 菜月、Nina Vodilova、  
SAKURAGAOKA works、古国府 薫  
音楽:Marek Kundlák  
演奏・声:Marek Kundlák、Zuzana Kundláková、Dunaj (犬)



## 参加者の声

自分で考え、自分で作り、少しずつ動かしたら普通に動き、また大胆に動かすと速く見えることが分かり良かったです。そしてこれをやることによって、動かした物にも命があると分かりました。(参加者)

子どもが熱中してワークショップに参加している姿を見て、親としてとても嬉しい気持ちになりました。「親方とねえさん」の、子どもに寄り添った素晴らしい指導に感動していました。親子ともども楽しい体験ができて感謝の気持ちで一杯です。(保護者)

貴重な機会に参加させて頂きありがとうございました。作り始めは「アニメーション?」「パペット?」「楽しい?」といった状況でしたが、オンラインでパペットを作り、撮影当日も相当楽しそうに制作に取り組んでいました。今後の本人の創作意欲を刺激してもらえる、とても良いイベントでした。(保護者)

子どもが「デザイン あ」の解散!のアニメーションが好きで、自分で作ってみたいと言っていたのでコツを知りたくて参加しました。動かし方のポイントが掴めたようなので、家でも引き続き作って動かして遊んでみようと思います。(保護者)



# カリビアン・ミュージック・コンサート

撮影:島崎雄史



## ▶事業概要

カリブ海に浮かぶ島、トリニダード・トバゴで生まれたスティールパンと、打楽器のコンサートを開催。子どもたちに人気の曲からカリブ地域の定番曲まで音楽との新たな出会いとなるようなプログラムを実施しました。途中にはミニダンスワークショップがあり、子どもたちは音楽に合わせて踊ったり飛び跳ねたり、夏らしい楽しい雰囲気となりました。

- 日時 2022/8/13(土) ①11:00~12:00 ②14:00~15:00
- 会場 としま区民センター 8F 多目的ホール
- 人数 306名 (①170名 ②136名)
- 出演 IZPON(パーカッション)、伊澤陽一(スティールパン)、タケウチカズタケ(鍵盤)、Ikumi(ダンス)
- 対象 3歳以上(未就学児入場可)
- 料金 大人(18歳以上) 1,000円、3歳から高校生 500円
- 全席自由
- ステージイラストレーション 古国府薫
- 曲目 パン・フォー・カーニバル、Under the sea、The Lion Sleeps Tonight、Sir Duke、Just two of us、Copacabana  
Dynamite(ミニダンス・ワークショップ)、Iza Born Lucian、Merry makers、I want you back、星に願いを



## 参加者の声

演奏がとても良かったです。心晴れやかに楽しい時間が過ごせました。

音楽は素晴らしいなと思いました。夏らしいカリビアンミュージック、とても良かったです。

スティールパンの音を初めて聴きましたが、見た目からは想像するより繊細な美しい音色が出ることに驚きました。色々な曲が聴けてダンスもとても楽しかったです。

あまり見ることのできない楽器だけれど、よく聞く音楽だったのですごく楽しめた。4歳息子はダンスのコーナーすごく楽しかったみたいです。小さい子は途中で体を動かせるコーナーがあると、とても助かります。

楽しかった。67歳が2人で参戦!気分があがりました。若いファミリーが楽しそう。私たちの子育ての時は無かった。子どもは未来の宝です。後ろのイラストも最高。明るい色でとても元気が出ました。

# あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー

撮影:島崎雄史



## ▶事業概要

変幻自在のマルチ・ピアニスト中川賢一さんを中心に、クラシック、現代音楽、世界の民俗音楽ほか多彩に活躍する5人の音楽家で結成した「あやしいサーカス団」によるクリスマスコンサートを実施しました。定番のクリスマスソングから、一風変わったオリジナル楽曲や鍵盤ハーモニカ奏者の野村誠さんによるお楽しみコーナー(プチワークショップ)まで、クリスマスのワクワクやウキウキが詰まったプレゼントのようなコンサートをお届けしました。会場の装飾にもクリスマスの雰囲気を多く取り入れ、特別感を演出しました。

- 日時 2022/12/24(土) 15:00~16:00
- 会場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
- 人数 318人
- 出演 中川賢一(ピアノ)、野村 誠(鍵盤ハーモニカ)、鶴木絵里(ソプラノ)、野尻小矢佳(打楽器)、福島青衣子(ハーブ)
- 対象 ファミリー向け / 0歳から入場可
- 料金 大人1,000円、小学生以下500円
- 全席指定
- 曲目 あやしいサーカス団 Les Six 2020、ハレルヤ、Meditative、トルコ風、月の光、シオンの娘よ、大いに喜べ、古典様式のアリア、喜びの歌、クリスマス・メドレー(もろびとこぞりて/あらののはてに/ホワイトクリスマス/きよこの夜/ジングルベル/サンタが街にやってくる/もみの木)



## 参加者の声

色々な楽器の音を生で聴くことができ、楽しかったです。

構成としてよく出来ていたと思う。子どもが飽きないように身振り手振りが多く、工夫されていた。

楽しいひと時でした。良いクリスマスイヴになりました。鍵盤ハーモニカがあんなに色んな表現が出来ることに驚いた。ハーブの色が可愛かった。

とても楽しかったです。4歳の息子もワクワク、ドキドキ聴いていました。大好きな“月の光”をピアノ+パーカッションのアレンジで初めて聴きました。



# 2022年度の実施を終えて

## アーティストの声



ベイビーシアター nido  
はらだまほさん(パフォーマー/振付家)

15ヶ月までの乳児とその保護者のための舞台芸術「ベイビーシアターnido」の上演を行いました。「世界はステキな出会いに溢れている」という0.1.2.のおもちゃ箱の合言葉が大好きで、さまざまなステキな出会いを共に創り、そして繋げていただいていることに感謝しています。暖かな空間の多目的ホールで、ゆったりと過ごし、芸術と出会っていき赤ちゃんを全員で見守る時間はとても幸せで豊かなものでした。乳児のための芸術はまだまだこれからのジャンルです。赤ちゃんと保護者が安心して身体と心をゆるめ、世界や芸術と出会う場がこれからも続いていきますように!



ビーだまコロコロ城をつくってあそぼう  
井上ヤスミチさん(画家/イラストレーター)

夏休みにエネルギーをためてしまっている子どもたちが、頭や手だけでなく身体も動かして自分の好きな関わりかたで主体的に楽しめそうな工作遊びを考えました。坂道とビー玉に関心がある子は開始と同時にすごい勢いでいくつも道を作ってくれたし、じっくり型の子はお城というテーマに合わせてお城にありそうな物やいそうな生き物を作って飾ってくれました。ひたすらコースの調整を頑張ってくれる子や、ビー玉を集めて自分で作った集積所に運んでくれる子も。夏休みに5箇所の学童を回らせていただきましたが、参加メンバーたちの個性によってどの会場もぜんぜん違うビー玉コロコロ城ができて、とてもエキサイティングな時間を過ごせて楽しかったです。小さな玉があれば家でも簡単にできる遊びです。テーブルの片側の足に漫画本などを挟んで傾斜を作り、積み木やブロックや食器や文具、なにかを置けばコースが作れます。シンプルだけど凝りだすとハマります。ご家族で是非。



コマ撮りアニメーションワークショップ  
古国府薫さん(アニメーション作家)

今年で3年目になるコマ撮りアニメーションワークショップ。コロナ禍の完全オンラインから、毎年アップグレードを重ね、今年はオンラインと現地集合のハイブリッドで開催されました。柔軟な心の子どもたち。ユニークなキャラクターアイデアがどんどん飛び出し、次々にパペットとして具現化していく。発想がとても自由で、どれだけ色んな想像世界がこの子達の胸の中に詰まっているのかと思うと果てしない。現地で集まった撮影は、どのチームも白熱で、基本はそれぞれ自分のパペットを動かしているのだけれど、隣の子と動きのアイデアを交換し合ったり、時にはパペット同士が交流し合い共にストーリーを紡いだり、現地開催の醍醐味を活かし、一つの映像作品をチーム一体となって作り上げました。また、本年度は皆で作ったアニメーションを過去作品達と共に、展示という形に出来た事で、参加者の子供達が自分たちの創作行為を、自分の手から離れた「作品」として鑑賞でき、作っていた時の真剣な表情とはまた違った、満足と誇らしさが混じったようなとびきりの笑顔で、親子一緒に何度も鑑賞されていた姿が印象的でした。



カリビアン・ミュージック・コンサート  
IZPONさん(パーカッショニスト)

カリビアンミュージックと呼ばれる、中南米の音楽を中心に行った今回のコンサートとダンスのワークショップ。ダンスは勿論でしたが、歌のない楽器だけのコンサートでも、小さいお子さん達は退屈せずに盛り上がってくれました。20世紀最後のアコースティック楽器と呼ばれるスティールパン。ドラム缶から作ったとは思えない美しい音色は、年齢性別関係なく人々を魅了するのだな、と改めて感心したのです。そしてやはりダンスの先生はスターですね。今回はコンサートの途中に生演奏でダンスのワークショップ、そして最後に皆で踊ったのですが、先生が登場した時の歓声の大きかったこと! コンサート中に後ろで上映されたコマ撮りのアニメーションワークショップの作品も、コンサートを大いに盛り上げてくれました。今後も夏の風物詩になるような、楽しい事が出来たら良いなと思っています。



0.1.2.のおもちゃ箱(ハッピー・メリー・プティパーティー)  
あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー  
野尻さやかさん(打楽器奏者)

「あやしいサーカス団」としては初めてとなるクリスマス当日のパーティー公演。クリスマス気分MAXで集まった満席の子どもたちを、サンタさんのお手伝いをする「あわてんぼうの野村サンタさん」とともに、なかなかパーティーに辿り着けない…あやしく不思議な音楽の旅へ連れ出しました。旅が進むにつれ、子どもたちもヒートアップ!初年度に作曲された「あやしいサーカス団」はテーマソングとなり、昨年のワークショップの「国歌」は移動の音楽になり、今年は「あうる〜すぽと!」の呪文が生まれるなど、3年間育ててきた子どもたちとの繋がりがあってこそこの舞台でした。これからも、としまチームらしいこの活動で一緒に楽しみたいと思います。

## 制作スタッフの声



子どもたちが自由に動きまわるワークショップ「ビーだまコロコロ城をつくってあそぼう」、初めての現地開催となった「コマ撮りアニメーションワークショップ」、親子でのびのび楽しめるマット席を設置した「カリビアン・ミュージック・コンサート」など、コロナの行動制限が少しずつ緩和され、開催方法や内容面においても本来の柔軟性を取り戻しつつあることを嬉しく感じた1年でした。これからも子どもたちが夢になれる楽しい事業を展開していきたいです。(御子柴)



「あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー」を担当しました。クリスマスは、子どもにとっても大人にとっても毎年ワクワクする特別な行事。クリスマスの素敵な思い出として心に残るようなコンサートを目指し、アーティストの皆さんと共にコンセプトや中身を構築していく作業は、新たな挑戦の機会となりました。事業を終えると、良かったこと改善すべきことが山積します。次回をもっともっと沢山の子どもたちの笑顔に出会うため、丁寧に振り返りをして、今後の事業制作に臨みたいと思います。(宮本)



マスク姿の大人を怖がらない赤ちゃん、何も言わなくてもディスタンスをとる小学生、長くにわたるコロナ禍で子どもたちはすっかり新しい生活様式を受け入れていました。楽器に触れ音の響きを感じて目を大きく見開いて新しい出会いを体感している赤ちゃんや、自分たちのコロコロ城を築いて「あー楽しかったー!!」と清々しい様子で会場を後にする小学生を見て、日常の中に「いつもと違ったコト」を残すことができたかなと思っています。そのコトはいつかどこかで子どもたちの何かにつながることを信じてこれからも熱意と冷静さをもってつくり続けたいと思います。(草ヶ谷)



昨年に引き続き今年度も新型コロナウイルスによる影響を大きく受け、子どもたちにとっても、また保護者の方々にとっても、まだまだ息苦しい日々が続いたことだろうと想像しています。新しい日常に慣れつつも、どこかずっと張りつめていたであろう緊張の糸が、すこしでも緩められる場所になればという思いのもと、イベント運営に携わっておりました。次年度以降は、さらに人と人とのつながりを意識し、今までの閉塞感や葛藤を昇華させるような事業が実施できればと考えています。(櫻井)



子ども事業はいつも新しい発見があり、私たちにもたくさんの学びがあります。今年度もそれぞれの担当者が工夫を凝らし、音楽、工作、アニメーションなど、様々なアートを介して、みんなで笑顔になったり夢中になったりする瞬間をたくさん共有できました。この瞬間と子どもたちのエネルギーを浴びることを楽しみに、今後も幅広い事業を展開していきたいです。(山田)

## アーカイブ & 最新情報はこちらから!

### としま未来文化財団 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@toshimamirai14/videos>  
過去の子ども向け事業の様子を紹介しています。



### 特設WEBサイト一覧

<https://toshima-pjt.jp/>  
過去の特設WEBサイトをご覧ください。



### としま未来文化財団 ホームページ

<https://www.toshima-mirai.or.jp/family/?cl=on>  
最新情報を発信しています。

